

# やっと実施できた

## 第 1 回野外体験活動

キャンプ部長 渡部孝男

コロナ禍により例年行われていたキャンプ活動の代替として野外体験活動を計画しました。令和 3、4 年度は『地域の文化財を訪ねよう—ユネスコ「世界の記憶」上野三碑巡り—』を計画したのですが応募者数が足りず中止になっていました。

令和 5 年度の野外体験活動は、「大地の変動を感じる下仁田ジオパークとこんにやく手作り体験」をテーマにしました。23 名の応募(当日参加は 20 名)があり 11 月 12 日(日)に実施しました。8:30 高崎駅 0 番線集合から上信電車で下仁田への電車体験から始まり、下仁田ジオパークのガイドによるエキサイティングな案内、青岩公園での地質学的学習、そしてこんにやく手作り体験までを含む多彩なプログラムで構成されました。

「魅力いっぱい上信電鉄沿線」クイズで駅名や「上野三碑」や「富岡製糸場」などの文化財について、初めて乗る参加者も楽しみながら学んでいました。下仁田ジオパークツアーでは、下仁田自然史館派遣の 2 名のガイドが、「跡倉クリッペ」の良く見える場所で大地の変動に関する解説を行いました。「青岩公園」では広がる緑色岩について、また、鐮川と南牧川から運ばれた数多くの石の見分け方の学習をした後、宝探しのような石集めも行いました。特に人気のあった石はチョークのように書ける石灰岩や火打石としても使われていた火花が出るチャートでした。お気に入り 1 個をお土産にしました。



昼食は青岩公園の石畳の上で行い、参加者同士持参のお弁当を囲み、ゲームや活動を通じてコミュニケーションを深めました。その後、下仁田戦争の史跡を見学し、昭和レトロな街中を歩いて、「こんにやく手作り体験道場」へと移動しました。下仁田名産のこんにやくを、専門の指導者のもとで手作りし、その製造プロセスについて学びました。持ち帰った蒟蒻は市販のものとは一味も二味も違いました。



この活動により、参加者は大地のダイナミックな変動を実際に感じ、地域の歴史や産業に触れ、新しい友情が芽生えるなど、ねらいが達成されたと感じます。

最後に、市民部防犯・青少年課の指導・協力に感謝いたします。楽しい体験ができた下仁田町に心から感謝いたします。